

レポート 飲食店で導入がすすむユニフォームレンタルのメリットとは

モップやマットなどのクリーン関連商品や、AED 機器のレンタルをするダストコントロール事業などで知られるサニクリーン。実はユニフォームのレンタル事業も行っており、今飲食店での導入が進んでいる。

毎日利用するユニフォームは、店の清潔感や雰囲気づくりに直結する、店の顔ともいえるアイテム。そんなユニフォームレンタルのメリットや、サニクリーンを選んだ理由を、石川・金沢の和食料理店「神鮮 和さび」の店主、明神和宏氏に聞いた。

地元の鮮魚や加賀野菜の旬をとらえた和食で支持

JR 金沢駅より徒歩7分。2013年にオープンした神鮮 和さびは、8坪11席の店で、居酒屋使いする常連客に支持されていた。その後、隣接する物件が空いたことで、23年4月に増床リニューアル。旧店舗を厨房にし、広い店内に客席をゆったりと配置した。

店主の明神氏は、地元の寿司割烹などで約20年修行を積んだ他、魚屋でも働き、魚介の目利きを養った。その後、実家の居酒屋を兄と2人で10年切り盛りし、独立を果たした。

同店は地物の海鮮や加賀野菜をメインに、旬をとらえた和食を提案。特に明神氏が握る寿司が評判だ。また日本酒にも力を入れており、石川県産の銘柄と全国の珍しい銘柄を常時100種類ラインアップする。

「お客様は地元の方が8割。観光客の方も地元の人から紹介されたという方が多く、地域の人々に支えられていますね」と明神氏と言う。

本業に集中するため ユニフォームはレンタルを選択

同店がサニクリーンのユニフォームレンタルを導入したのは、リニューアルオープンした23年4月から。外食産業の展示会を訪れた際、サニクリーンがレンタル事業を行っていたことを知ったという。

「元々ユニフォームは、レンタルにしようと考えていました。理由は、自分でクリーニングに出すなど、ユニフォームを管理するわずらわしさから逃れたいから」と明神氏。

背景には、以前働いていたときの経験があるという。以前の職場では、ユニフォームを自分でクリーニング屋に持っていく必要があり、その手間と時間を本業に集中したいと考えていたという。さらに「話好き」（明神氏）の性分

から、クリーニング屋を訪れると店主との会話に時間を取られることが多く、自分が外出せず着用品みのユニフォームを回収し、クリーニングしたユニフォームを納品してくれるレンタルが効率的だと、レンタルを決めた。

サンプルを試着しながらデザインを決定

現在は、明神氏含む2人分のユニフォーム（白のcockコートとエプロン）をレンタルし、サニクリーンが週1回訪問し、回収と納品をしている。

ユニフォームのデザインは、実際にスタッフと一緒にサンプルを試着しながら決めたという。「初め、生成りや紺色のユニフォームも検討していたのですが、やはり和食店ということで白がしっくりきたのです。お客様が見たとき、白は一番清潔感が伝わると思いました」（明神氏）オプションで、胸に店名の刺繍も入れている。こうした融通のきくサービスも、サニクリ



ユニフォームをクリーニング屋に出して取りに行くという時間や手間を考えると、レンタルにした方が本業に集中できると、ユニフォームレンタルを決めた



「神鮮 和さび」店主の明神和宏氏

ーンを選んだ理由の一つだ。

「ユニフォームをレンタルにすれば、スタッフもクリーニング屋に出すなどで、自分の時間を取られなくて済みまし、何より管理しなくていいので楽だと思います。限られた時間の中で、仕込みなどの開店準備をしなければならぬので、より本業に集中するためにはレンタルが便利です。

外出しなくなった分、サニクリーンの営業担当者さんと密なコミュニケーションを取っています。業界情報などいろいろ教えてくれるので助かっています」（明神氏）

現状、同年同じユニフォームのため、今後は夏用のユニフォームも導入するが検討中。「いつでも相談に乗ってくれ、すばやく対応してくれるので、サニクリーンさんとはいい関係性ができていると思います」と明神氏は話した。



神鮮 和さび

住所 石川県金沢市本町2-5-9
TEL 076-260-1181

営業時間 17時30分～22時30分（L.O.22時）

定休日 日曜（祝前日は営業、翌月曜休）

ホームページ <https://www.shinsen-wasabi.jp>



お問い合わせ

ユニフォームレンタルに関する各種お問い合わせやお見積り、資料請求はこちらから。

0120-792-578 土・日・祝日を除く10:00～16:00